

参加
無料

被災後の明暗を分ける防災・減災対策

首都東京を襲う大災害に対し、 企業は今、何をすべきか

首都直下地震や大雨による荒川氾濫については、いつ発生してもおかしくないと言われています。

皆様の企業は従業員の安全確保や取引先との連携は十分でしょうか？

本セミナーでは、災害対策の専門家や有識者から首都直下地震の被害想定や企業に今求められる対策をお伝えいたします。

講演内容

- ・国の災害対策方針について(内閣府)
- ・首都直下地震と荒川氾濫による、企業への影響と求められる対策(講師)
- ・東京海上グループのレジリエンスへの取組みおよびソリューションのご紹介(東京海上日動)



講師

さした ともひさ
指田 朝久 氏

東京海上ディーアール株式会社 経営企画部 主幹研究員

東京大学工学部を卒業し東京海上火災保険株式会社に入社。1996年同会社設立とともに出向。危機管理、リスクマネジメント、事業継続計画BCP、情報セキュリティなどのコンサルティングに従事。立教大学社会デザイン研究科客員教授化、法政大学ビジネススクール等合わせて5大学の非常勤講師兼務。京都大学博士(情報学)、気象予報士、情報処理技術者システム監査の資格をもつ。著書に「これだけは知っておきたいリスクマネジメントと危機管理ガイドブック」他多数

2024

7.31

WEN

14:00~15:30

開催方法

ZOOMウェビナー
(オンライン開催)

申込締切日

2024年 7月 26日

申込方法

右記記載のQRコード[※]からセミナーのお申し込みをお願いいたします。
QRコードの読み取りが難しい場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。

※QRコードは(株)ネットソーラーグループの登録商標です



お問合せ | 東京海上日動火災保険株式会社 営業担当者

主催 | 東京海上日動火災保険株式会社